

2 令和5年度予算概況

令和5年度当初予算は、各種事業の費用対効果を踏まえたうえで、限られた財源を有効に活用し、安全で安心して暮らすことのできる地域づくりを推進するため、効率的・効果的な予算編成を行いました。

(1) 一般会計

令和5年度一般会計の予算総額は、歳入歳出それぞれ15億8,045万8千円となり、前年度に比べて3,922万8千円(2.55%)の増となりました。

歳入の主なものは、構成市町村からの負担金が14億5,884万円で、歳入全体の92.31%を占めています。その内訳は、総務費負担金4,532万3千円、民生費負担金1,862万6千円、衛生費負担金3,735万1千円、消防費負担金13億3,042万1千円、消防施設整備負担金2,711万9千円となっています。

歳出の主なものは、消防費が14億2,728万6千円で、歳出全体の90.31%を占めています。その他の歳出として、議会費246万1千円、総務費7,690万7千円、民生費2,066万1千円、衛生費3,735万1千円、公債費1,299万2千円となっています。

各詳細については次のとおりです。

① 歳入

(単位:千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	構成比
1 分担金及び負担金	1,458,840	1,422,605	36,235	92.31%
総務費負担金	45,323	27,121	18,202	2.87%
民生費負担金	18,626	20,668	△ 2,042	1.18%
衛生費負担金	37,351	37,181	170	2.36%
消防費負担金	1,330,421	1,317,503	12,918	84.18%
消防施設整備負担金	27,119	20,132	6,987	1.72%
2 使用料及び手数料	3,261	1,746	1,515	0.21%
3 国庫支出金	16	13,749	△ 13,733	0.00%
4 県支出金	6,974	6,181	793	0.44%
5 財産収入	1	1	0	—
6 寄附金	1	1	0	—
7 繰越金	45,000	58,000	△ 13,000	2.85%
8 諸収入	10,665	10,947	△ 282	0.67%
9 組合債	55,700	28,000	27,700	3.52%
合 計	1,580,458	1,541,230	39,228	100.00%

② 歳出

(単位:千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	構成比
1 議会費	2,461	2,464	△ 3	0.15%
2 総務費	76,907	76,037	870	4.87%
3 民生費	20,661	20,670	△ 9	1.31%
4 衛生費	37,351	37,181	170	2.36%
5 消防費	1,427,286	1,394,882	32,404	90.31%
6 公債費	12,992	7,196	5,796	0.82%
7 予備費	2,800	2,800	0	0.18%
合 計	1,580,458	1,541,230	39,228	100.00%

③ 主な事業

○消防車両整備事業

高規格救急自動車1台を更新し、迅速な救急体制を整備するとともに、更なる救命率の向上を図ります。

○基幹相談支援センター設置・運営事業

地域における障害者相談支援の中核的な役割を担う相馬地方基幹相談支援センターを設置して、障がい者福祉の充実を図ります。

○救急医療対策事業

休日における急病患者の医療を確保する在宅当番医制事業費、歯科在宅当番医制事業費及び休日・夜間に入院治療を要する救急患者の医療を確保する病院群輪番制病院運営事業費を補助します。

○相馬地方介護人材緊急対応事業

高校生を対象とした介護職員初任者研修や介護福祉士実務者研修を実施し、将来の相馬地方における介護事業を担う人材を育成します。

④ 住民負担金と住民サービスの概要

○住民1人あたりが負担する額	13,666 円	
総務費負担金	425 円	
民生費負担金	174 円	
衛生費負担金	350 円	
消防費負担金	12,463 円	
消防施設整備負担金	254 円	
○住民1人あたりの行政サービス経費	14,779 円	
議会費	組合議会運営のために	23 円
総務費	組合業務全般のために	720 円
民生費	障がい者福祉向上のために	194 円
衛生費	救急医療体制のために	350 円
消防費	防災・救命救急のために	13,370 円
公債費	組合の借入金返済のために	122 円
		※相馬地方の人口106,751人で計算 (人口は令和4年度普通交付税算定 に用いた人口による)
		※年額

(2) 看護専門学校特別会計

令和5年度看護専門学校特別会計の予算総額は、歳入歳出それぞれ2億5,706万2千円となり、前年度に比べて2,994万4千円(13.18%)の増となりました。

歳入の主なものは、構成市町村からの負担金が1億9,694万8千円で、歳入全体の76.61%を占めています。その他、使用料及び手数料が3,450万円で、内訳は入学金や授業料などです。

歳出は、看護専門学校費が2億5,142万5千円で、歳出全体の97.81%を占めています。その他、公債費463万7千円となっています。

各詳細については次のとおりです。

① 歳入

(単位:千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	構成比
1 分担金及び負担金	196,948	175,765	21,183	76.61%
2 使用料及び手数料	34,500	34,739	△ 239	13.42%
3 国庫支出金	5,000	1	4,999	1.95%
4 県支出金	1	0	1	—
5 寄附金	1	1	0	—
6 繰越金	20,000	16,000	4,000	7.78%
7 諸収入	612	612	0	0.24%
合 計	257,062	227,118	29,944	100.00%

② 歳出

(単位:千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	構成比
1 看護専門学校費	251,425	226,020	25,405	97.81%
2 公債費	4,637	98	4,539	1.80%
3 予備費	1,000	1,000	0	0.39%
合 計	257,062	227,118	29,944	100.00%